

広島県県立学校における学校医に関するアンケート調査の報告

広島県医師会（渡辺小児科循環器科クリニック） 渡邊 弘司

新田小児科	新田 康郎
いずみ整形外科クリニック	泉 恭博
今井医院	今井 徹
岡野皮ふ科クリニック	岡野 伸二
こどもクリニック八本松	杉原 雄三
おひさまこどもクリニック	高橋 康太
中山心療クリニック	中山 純維
野田耳鼻咽喉科医院	野田 益弘
みやた眼科	宮田 章
向井内科	向井 皇
村上泌尿器科内科医院	村上 純一
広島県医師会（ユノ川産婦人科クリニック）	温泉川梅代
ゆみば子どもクリニック	弓場千麻子
わきた小児科	脇田 宜治
佐伯地区医師会理事	渡辺泰三郎
広島県医師会（牛尾内科医院）	牛尾 剛士
広島県医師会（平松整形外科内科銀山町）	平松 恵一

学校医に係る契約に関して、市郡地区では、市（または、郡）教育委員会と市郡医師会が契約を結んでいる地区が多いが、県立学校に関しては、個別契約であったことから、県医師会が学校医の現況・契約状況を把握できないでいた。この度、県立学校における業務内容・条件を検証し、状況に応じた環境整備を行うことを目的として県教委と協議を開始したが、その基礎資料として、県立学校医の現状を把握するため、アンケートを実施した。

県立学校の内訳は、高等学校82校、特別支援学校17校、中学校1校の計100校。校医に就任されている251名にアンケートを送り、147名から回答を得た（回収率 58.6%）。

回答された147名のうち、内科69名、耳鼻咽喉科28名、眼科33名、その他17名であった。年齢別では50歳代が52名（35.4%）、60歳代が49名（33.3%）、ついで、40歳代20名（13.6%）で、80歳代が7名（4.8%）であった。学校医経験年数では、5～10年未満が31名（21.1%）と最も多く、ついで、10～15年未満24名（16.3%）、5年未満21名（14.3%）、20～25年未満20名（13.6%）であった。学校医としての就任

依頼は、地区医師会からが70名（47.6%）、学校から直接が、68名（46.3%）であった。健診日に関して、多くは事前に日程調整されていると回答されたが、33名（22.4%）は、日程調整の協議無く一方的に通知があったと回答された。定期健診の日程は、休憩時間に対応された医師が最も多く（58.5%）、ついで、休診日に対応している（23.1%）であった。内科医師の76.8%が健康管理医を兼任していた。学校医の契約内容について、就任時に説明を受けたと回答した医師は33.3%、91名（61.9%）は、説明を受けたことはなく書類送付のみの対応であったと回答された。学校医の報酬に関して、知っているという回答されたのは35.4%であった。健診への交通機関の利用で、タクシー利用方法について説明を受けたのは、わずか10%であった。我々の学校医へのアンケート実施に対し、教育委員会は、学校関係者（校長）へのアンケートを行うこととなった。これらの結果をもとに、学校医・健康管理医としての県内の契約内容の標準化を図る予定である。

学会当日は、学校医科別のサブ解析結果を合わせて報告する。